

サラリーマン横井の活動をお伝えします

YOKOI Report



4年目活動中です!!

奈良市議会議員の横井雄一でございます。

「サラリーマンが普通に政治に参画できる奈良」の実現を目指し、
小さなことから少しずつ、いつもみなさんの身近にいる
政治家として活動してまいります。

みなさんの声を、議会で質問しました



① 職員さん、本来の仕事をして!【本会議】



横井の質問

特に住宅行政。市営住宅の管理者として、住人の安全・防犯や公平な家賃設定など政策の仕事に力を注ぐべき。職員が年間1,000件もの修繕業務や草刈りに忙殺されているのは本来の姿ではない!

仲川市長の答え

管理業務に忙殺されている現状を認識している。職員がすべき業務と民間でした方がよい業務を整理整頓した上で民間委託等を進める。

② 家庭ごみ収集業務の民営化は進めていますか。【本会議】



横井の質問

平成24年3月議会で提起した、家庭ごみ収集の民間委託化は進んでいるのか。25年度の予算に反映する規模はどのくらいか。

仲川市長の答え

平成25年度から実施する。その規模は、世帯数で1万8千世帯分、重さにして8千トンのゴミを民間委託する予定である。将来の完全民間委託をめざし進める。

その後・・・

4月1日から、ごみ収集の民間委託が始まりました!

③ 手話通訳者派遣事業を改善して!【本会議】



横井の質問

ろう者が病院にかかりたい時、手話通訳者を派遣する制度があるが、「申し込みは10日前までに」と書かれている。原因不明の腹痛を10日間も辛抱できる人はいない。制度を改めては。

保健福祉部長の答え

確かに、10日前までに申し込みいただくことになっている。しかし、急病等の事情にはできるだけ対応している。

さらに要望しました!

「急病等の際は、事前に申請がなくても派遣要請ができる」という旨を条項に加えてほしい!

その後・・・

平成25年4月1日、条項が改正されました。

④ 災害時の生活用水確保のため、井戸の活用を!【市民環境委員会】



横井の質問

災害時の生活用水確保のため井戸を確保しておく制度があるが、その協力者は増えていない。奈良町などには生きている井戸がたくさんある。手動式ポンプの設置補助を行い、協力井戸を増やしては。

危機管理課長の答え

他の都市での事例を調査し、その効果や問題点等、幅広い観点から今後研究する。

さらに要望しました!

災害時に役立つ井戸を増やすために、早急な予算化を要望しました。

その後・・・

25年度予算に「奈良町井戸調査費」が決まりました。

5 職員の不正行為を見逃すな！【市民環境委員会】



横井の質問

市職員アンケート調査結果によると、仕事中に縁故者の自宅に出向きごみを集めたり、処分費用が必要なリサイクルごみを、正規に集めてきたごみに紛れ込ませて処理させている職員がいるが、改まるのか。

副市長の答え

今回の職員アンケート調査によって初めて分かった。今後はこのような不適切行為は二度と起こらないよう指導する。

さらに要望しました！

一住民として腹立たしく思い、さらなる調査を要望しました。

6 聴覚障害者が使えるAEDを導入して！【本会議】



横井の質問

音声と光によって使い方を誘導する救命装置AED。パネルに文字や絵で使い方を誘導するAEDを導入し、聴覚障害者が救命行動できる装置を取り入れてほしい。

保健福祉部長の答え

ユニバーサルデザインのAED導入を望んでいる。聴覚障害者の協力が得られるような施設での導入を検討する。

さらに要望しました！

まずは「奈良市総合福祉センター」や、きこえの教室がある「椿井小学校」「三笠中学校」への設置を目指してほしい。

7 新火葬場候補地の探し方に公募制を取り入れては。【市民環境委員会】



横井の質問

広島県三次市で成功した、新火葬場の移転地を公募によって探す方法を一度検討してはどうか。今までのやり方では成果が出ていないのでは。

生活環境課長の答え

これまでのやり方では成果に至っていない。三次市の事例は認識しており、公募制も検討する。

さらに要望しました！

公募制を取り入れる際には、火葬場を「人生の終の施設」と捉え、その施設を含む一帯について特長ある「まちづくり構想」を同時に示す必要がある。

取組みの成果が出てきました！

その1

奈良市役所の不祥事根絶へ一歩前進です！

奈良市役所の不祥事体質を改めるため、平成23年9月議会・12月議会、平成24年3月議会・6月議会で、不祥事を根絶するための法律「職員基本条例」を作ること等を提起し続けてきました。平成24年12月議会では、私の質問に対し仲川市長は、『職員倫理条例を制定する』と明言。この3月議会で「奈良市職員倫理条例」が提案されました。

その2

ごみ収集業務の民間委託化が拡大します！

平成24年3月議会で提案した「家庭ごみ収集業務の民間委託化」が拡大します。平成25年度は、世帯数にして約1万8千世帯分のごみが、また、重さにして約8千トンのごみが民間事業者によって収集されることになりました。2年越しの取り組みでしたが、「民間でできることは民間で」という当たり前のことが、少しずつ進んでいます。

その3

議会改革が大きく前進です！

この3月議会で、議員提案による「市議会議員政治倫理条例」の改正と、「議会基本条例」を成立させました。私も議会制度検討特別委員の一人として取り組んできた案件であり、長期にわたる取り組みでした。今回の成立をととてもうれしく思います。

その4

人事評価制度が始まりました！

就任以来提起してきました「人事評価制度」。今年度は一年かけて試行し制度を最終構築します。26年度の本格導入です。「仕事をする人もあまりしない人もそれぞれ適切に評価する」という、民間企業なら当たり前のやり方が奈良市役所にも導入されます。

特集! 奈良町のまちづくりを住民と協働でやりましょう!

椿井小学校の南西、東城戸町に高層マンションが建設されようとしています。奈良に住む人が増えることは嬉しいのですが、「奈良町 都市景観形成地区」内での開発ですので、奈良町の景観が損なわれる危機感を持つ住民の方も多いのです。マンション建設自体はルールに反していませんが、将来のまちづくりを見据えて、議会で質問に立ち、仲川市長と議論しました。

問1. 奈良町の景観どうなるの?

HOP
ホップ!

仲川市長の答え: 奈良町は伝統的な町家が残り、古くからの文化を残す街並みであることから、景観形成についての条例により保存、保全に取り組んでいる。奈良町の地域特性を鑑み、住民の声を反映させるべく事業主に対し指導している。また今後、地域特性に配慮した計画となるよう追加的な規制が必要ではないかと考えている。

問2. 奈良町の将来を見据えて、周辺地域を「地区計画」指定してまちづくりを進めてはどうか。

STEP
ステップ!!

仲川市長の答え: 奈良町の風情を残しつつ活性化を図るためには、一定の法規制が必要ではないかと考えている。開発などに対しては「地区計画」を導入することも一つの方策。もし奈良町で行う場合は、地域課題や特徴を踏まえ、住民、地権者と行政とが連携し、「まちづくり」を進めていくことが必要である。

問3. 「住民との協働」という観点から、奈良町でまちづくりに携わる方々へメッセージを。

JUMP
ジャンプ!!!

仲川市長の答え: 奈良町地区やなら北地区など町の保存は、文化財保護や新たな観光資源としても大変重要。加えて、地域の方々が安心できるまちづくりも大切。このようなまちづくりは、市の一方的な規制によるのではなく、地域住民が主体となるまちづくりが基本であると考えている。市は地域の自主的なまちづくりをサポートしていきたい。

さらに市長に要望しました!

今般のマンション計画問題にとどまらず、奈良町のまちづくり全体に、力を貸していただきたい!



〈奈良町都市景観形成地区〉



★ ニュース ★

25年度新規予算に、『歴史的風土維持向上計画』策定費5,000千円が決定。これによって、将来の奈良町・きたまちの都市景観形成に関する計画が進みます。

よこいくんの取り組み

高松市丸亀町商店街の奇跡 ～視察レポート①～

「消費者は郊外の大型店を支持している。単なる商店街の再生では支持されない」と問題提起。そして、全国を中心市街地活性化の動きとは違う日本初の試みによって、「商業者の生活設計の活性化」ではない、「地域に支持される公共性を持つ商店街」へと変換させたのが、「高松市丸亀町商店街」です。特長は、①出店をコーディネートするしくみを作り消費者が求めるお店を置く（消費者目線の店づくり）②商店街に高齢者も住みやすい400戸の住宅を作り居住者を増やす③医療施設も商店街に揃える・・・など歩いてこと足りる商店街をつくられたのです。平成18年にスタートし続行中であるこの開発は、みんなで自立する「本気の再生」を目指されています。

【平成25年1月29日 高松丸亀町商店街振興組合 古川康造理事長を訪ねました】

鹿児島市のゴミ清掃工場は時代にマッチ ～視察レポート②～

昨年11月7日、鹿児島市の「北部清掃工場」を視察してきました。平成19年に稼働した最新プラントを持つ工場は、奈良市の年間ゴミ焼却量9万1千トンを上回る12万3千トンのゴミをたった2炉の焼却炉で処分できます（奈良市は4炉）。また、工場内の重点施設すべてを建物の廊下からガラス越しに見学することが可能で、住民公開性にも優れた施設でした。奈良市にも、時代に合った施設を整備する必要性を強く感じました。



〈ガラス張りのコントロール室〉

ろう者とのコミュニケーションを図る

ろう者も健聴者も、例会中の2時間は一切声を出さずにコミュニケーションする。手話サークル「鹿の会」の基本ルールです。ようやくそのルールを守りながらどうにかしてコミュニケーションできるようになってきました。



〈手話かるたをやっているところ〉

東日本大震災 被災地支援はつづく

わずかなことですが、できることをしたいと思っています。被災地・福島県のリンゴを、毎年ひと箱だけですが購入しています。風評被害にも負けず心を込めて作られたリンゴはとてもおいしいです。【写真は福島県本宮市の鈴木農園さんのリンゴ】



2年経ちました。震災直後にながれき撤去活動に訪れた宮城県・気仙沼市。ときどき、「みなさんはお元気だろうか」と、町で出会った方々のことを思い出します。今年の夏には一度、気仙沼を訪れてみたいと思っています。

みなさんのところへ、出かけて行きます！

政治のことをわかりやすくお話しします。それが、横井雄一の「出前トーク」です。



横井雄一の電話番号 **まずは、お電話ください!**

いさくわ よこいくん

090-1598-4519 まで